

「一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」市民意見提出制度の募集結果

第2部総合戦略に関するご意見（21件）

番号	意見要約	一宮市としての考え方
1	P. 64 若い人が将来多くの子どもたちと力強く生活していけるように、若い人たちへの経済的支援、精神的支援をどこよりもしていただくよう願う。	一宮市の総合戦略は、特に子育て世代を中心とする若い世代の希望をかなえることに重点をおいており、その支援に今後力を注ぎたいと考えています。
2	P. 64 一宮市の平成20～24年における合計特殊出生率は5年間平均で1.52であり、平成26年度では1.42という結果である。平成26年度の合計特殊出生率が大幅に減少した要因は不明であるが、今後5年間で過去5年間の平均値を上回る目標設定は非常に大きな努力目標であると考えます。 また、一宮市在住で出産が可能とされる「女性人口」の年齢分布や今後の人口予測が不明であるが、出生率の問題もさることながら、「女性人口」が減少することにより出生率が上昇しても子どもの数は増えないという問題が考えられることを留意願いたい。	ご意見のとおり、単に合計特殊出生率の向上のみでは人口減少を克服できませんが、出生率の向上により子どもを増やすことで、国全体の出産可能な女性数も増やしていくことにもつながりますので、長期的視点に立ち、当面は国とともに出生率の向上に取り組んでいきたいと考えています。
3	P. 64 「異性との出会い」について、異性に限定する必要はない。「選ばれるまち」であるために、また「時代に沿った新たな趣向や発想を採り入れ」るのであれば、同性との出会いを含めた幅広い出会いの場の創出を目指すべきではないか。同性カップルの移住でも人口増につながる。同性愛を含むLGBT（性的少数者）に理解を示している自治体は一部であるので、一宮市がLGBTに前向きな姿勢を打ち出せば、日本中・世界中から注目を集め、LGBT関連のロケ地誘致にも有利。LGBTフレンドリーな商店や施設等の整備をあわせて行えば、国内外からの訪問者も増加。コスチュームタウンプロジェクトとの親和性も高い。	本総合戦略は、国とともに加速度的に進む人口減少を克服することを目指していますので、出産・子育てにつながる異性との出会いに限らせていただきました。一方、LGBTに限らず移住者対策も大切ですので、ご意見は今後の参考とさせていただきます。
4	P. 66 小・中学校の普通教室への空調設備設置は歓迎するが、空調が整備されたことにより中学生の夏休み中の補充学習等の登校が増えることが危惧される。子どもに学校外での多様な体験の機会を保障するためにも、空調の導入をきっかけに、夏休み中に新たな登校機会を設けないよう要望する。	地球温暖化等の影響により気温が上昇し、5月や10月にも30度を超える真夏日が記録されるようになってきているので、次世代を担う子どもの快適な学習環境を整備することを目的に、空調設備の整備を図っていきたいと考えています。 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。

番号	意見要約	一宮市としての考え方
5	<p>P. 67 早期からのプログラミング教育に関連して、既存事業の小学校英語活動の充実が掲げられている。一宮市の小学校では、3年生以上で年間35時間の英語活動が実施されており、プログラミング教育が加われば、学級担任等、現場への相当な負担が予想される。さらに、一宮の小学校では手作りテストや、通知表所見の手書きにこだわっており、現場がパンクするのではないかと危惧している。プログラミング教育を導入するのであれば、テストは市販のものに、通知表はパソコン印刷に切り替えてはどうか。一方ではプログラミング教育を導入し、他方では手書きにこだわるというのはいかにも不釣り合い。</p>	<p>プログラミング教育は、想像力・思考力などの育成を目指し、早期から取り組んでいきたいと考えています。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
6	<p>P. 70 ④にぎわいを創出する中心市街地の活性化における重要業績評価指標の「建築規制緩和適用による開発件数」について、当然であるが、規制緩和の適用を受けるのは建築主である。規制緩和を受けて建設することは、建築主にとって大きなメリットであることから、条件が緩和されるのであれば、建設ニーズが高まる可能性が高い。しかし、一宮駅周辺は賃貸マンションの建設ニーズが高いと思われ、よって建築主が個人であることが多い。個人は情報収集が早いとは言えず、周知されるには期間を要すると思われる。目標値3件は立地条件を勘案すれば安易にクリアできる数字と言えるが、反面、周知方法によってはクリアが難しい数字とも言える。</p>	<p>建築規制緩和適用による駅周辺の開発が進むよう、中心市街地の活性化にかかわる関係機関をはじめ市民に対し、必要な周知を図っていききたいと考えています。</p>
7	<p>P. 70 にぎわい創出の重要業績評価指標の開発件数は、施策全体を表象するキーになっていない。賑わい全体を表わせるか疑問です。</p>	<p>中心市街地のにぎわいを表す指標として、中心市街地の人口を重要業績評価指標に追加します。 (現状値 14,538人 ⇒ 目標値 16,000人)</p>
8	<p>P. 72 ②シティプロモーションの推進における重要業績評価指標の「フィルム・コミッション誘致回数」について、フィルム・コミッションとは、一般に映画撮影等を誘致することであり、延べ5回という回数は、年間1回というペースでハードルが高いと考える。平成28年度にHPや動画の作成を完了し、次年度以降に実際に誘致すると考えれば、3~4回が現実的ではないか。</p>	<p>平成27年度における1件の誘致実績を踏まえ、年1回程度のフィルム・コミッション誘致を目標にしていきたいと考えています。</p>
9	<p>P. 72 シティプロモーションの重要業績評価指標の誘致件数は、施策全体を表象するキーになっていない。シティプロモーション全体を表わせるか疑問です。</p>	<p>シティプロモーション全体の効果を測る指標として、新たに(株)ブランド総合研究所による地域ブランド調査全国ランキング(認知度)を重要業績評価指標に追加します。 (現状値 302位 ⇒ 目標値 200位以内)</p>

番号	意見要約	一宮市としての考え方
10	P.73 ④一宮市の名産品・特産品の育成とPRIにおける重要業績評価指標の「いちのみや応援寄付金の寄付件数」について、「一宮市の地域資源を活用した「お礼の品」を増加させる」を追加してはどうか。	一宮市の名産品・特産品の増加を測る指標として、いちのみや食ブランド認定商品数を重要業績評価指標に追加します。 (現状値 40品目 ⇒ 目標値 100品目)
11	P.74 ①多様な手段による企業誘致の推進における重要業績評価指標について、企業立地事業に対して雇用促進奨励金交付対象者数を目標設定することは整合性があるように感じない。	誘致する企業の規模は様々となっていますので、企業誘致に伴う効果を客観的に判断するため、単に誘致件数とせず、どれだけの雇用増加につながったかという視点から、雇用促進奨励金交付対象者数を重要業績評価指標としています。 <u>なお、企業誘致の状況について、毎年公表します。</u>
12	P.75 ①多様な手段による企業誘致の推進における関連する既存事業の、産業競争力強化法における創業支援事業については、一宮市は平成26年6月に認定を受けているものの、協力支援団体数が3団体であり、自治体の規模を考えれば多いとは言えない。愛知県内においても支援団体数を当初から増やしている事例もあり、支援協力団体を増やすことを検討すべき。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
13	P.75 ②尾州テキスタイル産業の育成・ブランド化における重要業績評価指標の「J・クオリティ認証取得企業数」について、現状で同認証制度対象先となりうるメーカー数が、婦人服37社、紳士服24社、ニット11社と合わせても100社に満たない状況にあることから考えても実現性の低い目標数値ではないか。	J・クオリティについては、織り・編み、染色整理、縫製、企画販売の企業が認証企業の対象となっています。 <u>現在、市内の対象事業所数は、下請けを含め150程度存在しますので、現状の目標値のとおりとします。</u>
14	P.75 ②尾州テキスタイル産業の育成・ブランド化における重要業績評価指標の「J・クオリティ認証取得企業数」について、現状4社→100社の目標設定は、取得の難易度が低い又は取得する必要性が低いかのどちらかの印象を受ける。	
15	P.75 ②尾州テキスタイル産業の育成・ブランド化における重要業績評価指標の「J・クオリティ認証取得企業数」及び「有名アパレルブランドと市内企業の契約件数」について、「繊維関係における特許件数の増加」、「繊維工業における労働生産性の向上」、「繊維工業における人材育成事業の受講者数」等のKPIを追加してはどうか。	ご意見のとおり、人材育成の視点からテキスタイル産業における人材育成事業受講者数を重要業績評価指標に追加します。 (現状値 年間483人 ⇒ 目標値 延べ3,000人)

番号	意見要約	一宮市としての考え方
16	P. 75 昨年の総合展「THE 尾州」での「アンリアルレイジ」のファッションショーには感動しました。おしゃれな若い子が多く来ていて、もっと多くの人が見られたらよかった。中学生等にもこうした本物を体感する機会を設けてほしいと思います。	昨年2月「アンリアルレイジ」のファッションショーは、市内企業様のご寄付により開催させていただき、本物を体感できるよい機会となりました。ご意見について、今後の参考とさせていただきます。
17	P. 77 交通安全に対する意識の低さが気になる。カーブミラーの適切な管理や右折レーンの整備、時差信号の表示方法の工夫など、少しずつ改善を進めてほしい。	安心・安全なまちづくりに向け、交通安全対策も推進していきたいと考えています。ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
18	一宮はいろいろな資源を持っているにも関わらず活かしきれていません。市全体としての「まちづくり」を全体視点で統括してブランディングする視点がないためだと考えます。市民の力も巻き込みながら地域の特性を活かした魅力を最大化し、市民がより市への愛着を持ち、主体的に一宮を創る風土をつくることだと思えます。ローカルの良さをグローバルな視点で引き出し、外と内のコラボレーションの中で新しい価値を創り出していかなければならないが、市内の人財力のみでは外の視点がどうしても不足してしまい、限界があると思います。イノベーションを起こすためには外部の力も必要であり、市外の地域創生の専門家（大学等）や企業、関心とアイデアを持つ若者をうまく使い、市内の企業や市民とのコラボレーションを生む仕組みをつくる必要があります。	まちづくりの主体は市民となりますが、様々な分野の方々の意見や市外部からの視点・アイデアも重要となると考えています。総合戦略においては、市民をはじめ、産業界、行政、教育機関、金融機関、労働団体、メディアの有識者など、様々な分野の皆様から、市外部からの視点も含めた幅広い意見をお聞きし策定を進めています。今後、総合戦略の事業を実施するにあたり、行政だけでなく、幅広く市内外の民間とともに取組む官民協働も重要なポイントとなりますので、ご意見は参考とさせていただきます。
19	旧尾張病院の土地・施設を県から市へ権利を移し、総合病院・薬局・介護センター・子ども支援センター等の活用を考えてほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
20	豊島記念資料館（旧豊島図書館）を機織り機による手仕事ものづくり拠点とし、豊島記念資料機織り館として再生することを提案する。様々な集客・体験イベントの実施や一宮地場産業ファッションデザインセンター等との連携、情報発信、地場産業の発展、人材育成等ができる場所とする。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
21	地域経済分析システム（RESAS）や管理会計や財務諸表分析などの要素が盛り込まれながら、基本目標をキーワード的な言葉で示し、アンケート結果を上手に踏まえられている。総合戦略の基本目標とキーワード希望、調和、魅力、活力、安心をつなぐで、言葉で可視化される表現はとてもよい。業績評価指数（KPI）も、達成目標は無理のないものと思う。	総合戦略に掲げる5つの基本目標の実現に向け、各施策及び事業を推進していきたいと考えています。